

I 寝屋川市の概要

1 市の概要

寝屋川市は、大阪府の東北部、淀川左岸に位置し、大阪市域の中心より 15 km、京都市域の中心より 35 km の距離にあります。

また、本市の東部は交野市、西部は淀川を境として高槻市、摂津市に接し、南部は守口市、門真市、大東市及び四條畷市と、北部は枚方市に接し、北河内地域の中心部に位置しています。

市の地勢は、東部丘陵地帯と西部平坦地帯の二つに大別され、丘陵地帯は生駒山系の一部をなし海拔約 50m です。平坦地帯は主として沖積層からなる海拔 2～3 m の平地です。

○ 市の広さ

| | |
|----|-----------------------|
| 面積 | 24.73 km ² |
| 東西 | 6.89 km |
| 南北 | 7.22 km |

2 市の沿革

古代より生駒山系は人類の住みついたところで、本市の東部丘陵地帯はこの生駒山系に属し、市内の太秦地区には石器時代の古墳があります。

寝屋川市のある大阪東北部（旧北河内郡）は平野がひらけ、古くから穀倉地帯として農耕を営んでいました。江戸時代に入って、米作を中心に菜種、麦などのほか河内木綿の原料の綿を作り、丘陵地帯では茶、甘薯、筍の栽培などが盛んになってきました。

明治 22 年に町村制が施行され、市域に九箇庄村、寝屋川村、豊野村、友呂岐村、水本村が成立しました。

また、明治 43 年には京阪電車が開通し、その沿線が徐々に発展の途をたどることになりました。

本市は、昭和 18 年に淀川沿いの平野部と東部丘陵地の 1 町 3 村をもって寝屋川町となり、昭和 26 年 5 月には人口約 3 万人で府内 16 番目の市として誕生しました。

こうした中、大動脈である国道や衛星都市を結ぶ府道が完成、都市形態が整備されるにつれて、各企業が進出、本市は大きな変ぼうを遂げました。

昭和 36 年には水本村と合併、その後昭和 40 年代にかけて、年間に 2 万人という爆発的な人口増が続くなど、大阪都市圏のベッドタウンとして発展し、人口約 25 万人の都市となりました。その後、人口の社会移動も減少するとともに定住化の兆しを示し、ほぼ 24 万人で安定しました。

平成 23 年には市制施行 60 周年を迎え、現在は「魅力と活力にあふれる元気都市 寝屋川」を目指して、市民との協働によるまちづくりを進めているところです。

3 人口・世帯(各年1月1日現在、外国人登録を含む)

| | 人口 (人) | 世帯数 (世帯) | 一世帯あたりの人口 (人) | 1平方キ _ロ あたりの人口密度 (人) | 人口の前年度比 (%) | 平成21年を100とした場合の人口指数 |
|-----|-----------|-------------|------------------|-----------------------------------|----------------|---------------------|
| 21年 | 243,401 | 105,184 | 2.31 | 9,842 | 99.9 | 100.0 |
| 22年 | 243,215 | 106,180 | 2.29 | 9,835 | 99.9 | 99.9 |
| 23年 | 242,562 | 106,745 | 2.27 | 9,808 | 99.7 | 99.7 |
| 24年 | 243,007 | 107,682 | 2.26 | 9,826 | 100.2 | 99.8 |
| 25年 | 242,673 | 107,661 | 2.25 | 9,813 | 99.9 | 99.7 |

図1 人口の推移

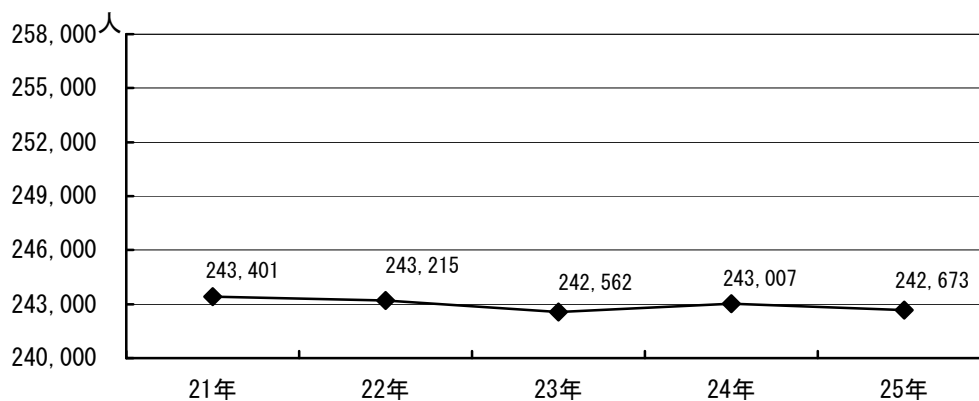


図2 世帯数の推移

